

35. 自然に親しむ科 (2027年度)

講師：菅井啓之、河合典彦、谷垣岳人、和田太一、伊藤有加、遠藤雄一、木村祐貴、近藤美麻、永浜久美恵、渡邊克典

					午 前		午 後	
回	月	日	曜日	講座数	テーマ	講 師 名	テーマ	内 容
1 学 期	1	7	水	① ★	①入 学 式 (大阪国際会議場)			
	2	8	木	1	「自然に親しむ」とはどうすることか	菅井啓之①	自己紹介、年間学習・行事予定等の説明、名簿用写真撮影	
	3	15	木	2	川の基礎知識と淀川の特徴	河合典彦①	高大オリエンテーション、班内役割決定、遠足係打合せ	
	4	22	木	3	社寺林は森に親しむ窓口	菅井啓之②	委員長・副委員長、各係長決定	班での遠足場所検討
	5	6	木	4	★ 春日山原始林で「杜」に親しむ	菅井啓之③	自主活動	班での遠足場所検討
	6	13	木	5	医薬品、健康食品になる植物	遠藤雄一	〃	近大薬用植物園見学 遠足場所決定
	7	20	木	6	★ 淀川水系/京都市の水環境探訪	河合典彦②	〃	
	8	27	木	7	里山の自然といきもの	谷垣岳人①	〃	遠足連絡
	9	3	木	8	★ 里山の自然観察	谷垣岳人②	自主活動	班の年間テーマ検討開始
	10	10	木	9	生物多様性からの恵み	近藤美麻	〃	遠足連絡
	11	17	木	② ★	②遠 足 (日程変更可 1学期中に実施)			
	###	24	木	10③	貝殻は海の自然に親しむ入り口	菅井啓之④	③社会への参加活動 (準備活動) (活動事例研究)	
	14	1	木	11	人と内湾とのつきあい—大阪湾を例に	木村祐貴	自主活動	班の年間テーマ決定
	15	15	木	12	チリメンモンスターから海の生物多様性を知る	渡邊克典	〃	健康まつり説明 懇親会
	8		木		夏 休 み			
2 学 期	16	16	木	13	淀川の水環境(淡水域)の生物多様性	河合典彦③	自主活動	健康まつり説明
	17	29	水	④ ★	④コーダイ健康まつり (日程・場所 未定)			
	18	7	木	14	★ 万博記念公園の日本庭園で庭に親しむ	菅井啓之⑤	自主活動	
	19	14	木	15	自然環境の変化と人とのかかわり	伊藤有加	〃	卒業旅行の検討
	20	21	木	16	★ 淀川の水環境の象徴/城北ワンド群	河合典彦④	〃	
	21	28	木	17	★ 森林セラピー「森の癒し機能を体感」	永浜久美恵	〃	
	22	4	木	18	庭に親しむ心は自然と同化する心	菅井啓之⑥	自主活動	コーダイフェスタ発表準備
	23	11	木	19	⑥社会への参加活動		〃	コーダイフェスタ発表準備
	24	17	水	⑤ ★	⑤コーダイフェスタ (日程・場所 未定)			
	25	25	木	20	★ 京都御苑で樹木に親しむ	菅井啓之⑦	〃	
	26	2	木	21	自主企画講座		自主活動	卒業旅行の決定
	27	9	木	⑥ ★	淀川と旧淀川の接点、毛馬の水環境の歴史と河川施設	河合典彦⑤	〃	
					冬 休 み			
	28	13	木	22	★ 箕面国定公園でシイの原生林に親しむ	菅井啓之⑧	自主活動	
	29	20	木	23	野鳥観察入門	和田太一①	〃	
	30	27	木	24	★ 鶴見緑地での「冬の野鳥観察」	和田太一②	〃	
3 学 期	31	10	木	25	淀川の水環境(汽水域)の生物多様性・河川教育	河合典彦⑥	自主活動	学習成果発表会準備
	32	17	木	26	日本文化に根差した自然の見方	菅井啓之⑨	〃	学習成果発表会準備
	33		木	27	学習成果発表会	菅井啓之⑩		
	34		木	⑦	⑦修了式			
	35	2	木	⑧ ★	⑧・⑨卒 業 旅 行(推奨 日帰り)			
	36	3	金	⑨				
授業(自主企画、成果発表会含む)					27		★は校外学習	
学習事業 (①～⑨)					9			
合 計					36			

注) 1. 日程、カリキュラム内容等は、都合により変更になる場合があります。

20260924